

211,000DWT バルクキャリア

—DREAM CLOVER—

211,000DWT BULK CARRIER



設計本部 設計統括部

2.3 実海域性能

本船は波浪中の抵抗増加低減を図った LEADGE-Bow[®]と呼ばれる船首形状と、風圧抵抗低減を図った低風圧型居住区を採用しており、平水中性能に留まらず実海域でも燃費性能に優れた船型となっている。

2.4 その他の特徴

最新の船体構造モニタリングシステムを採用しており、疲労強度評価に基づく船体の保守支援及び荒天時操船支援といった機能を有すべく、ガイドラインの適合確認を完了し NK として初となる Notation “DSS (HM (F+LS,O))”、またエネルギー消費効率の分析機能に関わる “DSS (EE)” を付与されている。

また、JFE スチール(株)殿が開発した石炭カーゴホールド内の腐食を抑制する高耐食性厚鋼板 JFE-SIP[®]-CC を、本船の外板、倉内肋骨、内底板のそれぞれ一部に採用している。

1. はじめに

本船は鉄鉱石/石炭の太平洋トレードにおいて圧倒的なパフォーマンスを誇る G209BC の後続商品として開発された J211BC (211,000 DWT Bulk Carrier) の 1 番船である。2021 年 7 月 28 日に津事業所にて引き渡された。

以下に本船の特徴を紹介する。

2. 本船の特徴

2.1 コンセプト

当社従来船と同じ船体要目を維持し、Common Structural Rules for Bulk Carriers and Oil Tankers や NOx(窒素酸化物)排出規制 Tier III、SOx(硫黄酸化物)排出規制等の最新規則を盛り込んだうえで、貨物倉容積・積高の増加と燃費低減を両立した。

2.2 省エネ・環境負荷低減技術

最適船型に加え、当社独自の省エネデバイスである Super Stream Duct[®]、SURF-BULB[®]、ALV-Fin[®]、および Twisted rudder と高効率プロペラの採用によりさらなる燃費削減を達成している。

温室効果ガス排出規制の枠組みである EEDI(エネルギー効率設計指標)については、2020 年以降の契約船に適用される Phase2 を達成しており、燃費低減と載貨重量の増加によりトンマイル当たりの燃料消費量は 2013 年当社建造竣工船比で約 22%向上させている。

2020 年 1 月から強化された SOx 排出規制と NOx 3 次規制を達成するために、SOx スクラバと SCR(Selective Catalytic Reduction)をそれぞれ標準装備している。

3. おわりに

本船は JFE スチール(株) 殿向けの長期輸送に従事しておりますが、本シリーズ船型をプロトタイプとした LNG 燃料船もすでに受注しており、さらなる環境性能に優れた最新鋭のエコシップの建造に努め、業界をリードして参ります。

表 1 本船主要目

Table 1 Principal particular

全長	299.9 m
型幅	50.0 m
型深	25.0 m
喫水	18.4 m
載貨重量	212,078 t
主機関	MAN-B&W 7S65ME-C8.5-HPSCR
航海速力	14.5 knots
船級	NK
船籍	Panama